



# たいよう

葵が丘小学校 ことばの教室便り 平成30年1月9日号

クリスマス、お正月などの行事が盛りだくさんの冬休みを終え、いよいよ新学期のスタートです。子供たちは新しい目標を持って新年を迎えることができたでしょうか。冬休みの楽しい出来事や今年の抱負について話をしてくれることを楽しみにしています。

3学期は、園や学校の生活がまとめの時期に入ります。去年のこの時期と比べてみると、ずいぶん成長したと感ずることも多いと思います。他の子と比べるのではなく、子供自身の成長を見つめ、一緒に喜んだり楽しんだりすることが大切だと思います。

ことばの教室でも、一年のまとめができるように、担当者一同、努めていきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

## 1月の予定

- 1月 9日 (火) 葵が丘小3学期始業式
- 10日 (水) 児童・幼児指導開始
- 17日 (水) 会議のため、ひまわり組午後指導中止
- 26日 (金) 校内入退級審査会
- 31日 (水) 市入退級審査会・研修会のため、午前指導中止
- <2月>
- 16日 (金) ~ 22日 (木) グループ指導



### ★グループ活動について

- 幼児 A グループ 8:30~
  - 幼児 B グループ 14:30~
  - 児童 C グループ 15:45~
- に分かれて行います。

※詳しくは別紙を御覧ください。

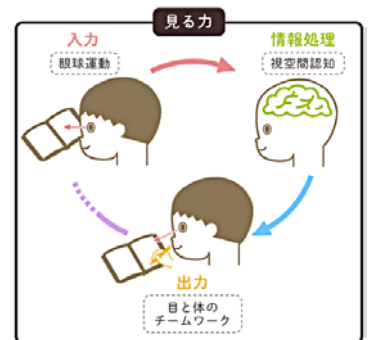
### ～空間認知について～

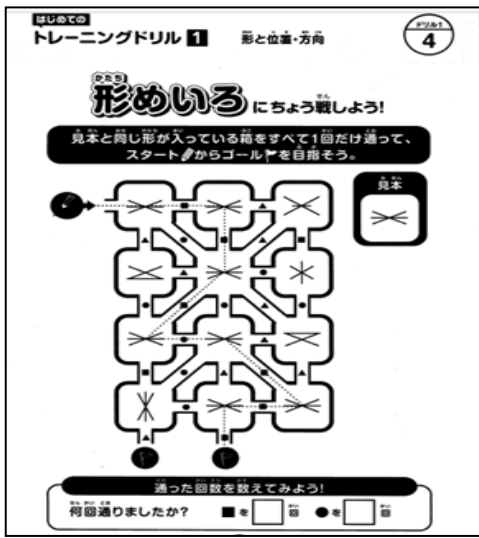
空間認知とは、物の位置や形、方向、大きさ等を直観的に素早く認識する能力のことです。

この能力が弱いと、文字を書く時に斜めや左右が分かりにくくなります。また、文字の細かい形の違いも見分けにくくなります。平仮名や片仮名では、「き、め、や、イ、ミ」等の文字の斜め線が反対向きになることがあります。また、鏡文字も出やすくなります。漢字では、線や点の数が違っていたり、突き出るところと突き出ないところを間違ったりします。へんとうくりが逆になったり、部首の配置も不正確になったりします。

空間認知の弱さをもつ場合の対応として、苦手なところをトレーニングする方法と得意なところで苦手なところをカバーする方法があります。

苦手なところをトレーニングする方法として、「視知覚トレーニング」があります。間違い探しやパズル、迷路、点つなぎ等の視知覚課題を子供に応じたレベルで取り組ませ、ステップアップしていきます。眼球運動や追視等の視機能に課題がある場合には「ビジョントレーニング」を取り入れることもあります。





〈視知覚トレーニング 「WAVES」より〉

得意なところでカバーするには、苦手な方向や形を言葉に置き換えて、唱えながら書いていく方法があります。かなや漢字のパーツを命名して、「よこ、たてまる、し、てん、で『む』や「立つ、木、おのづくり、で『新』」ように唱えながら書く練習をしていきます。「学びにくい子へのつまずきサポート」明治図書より



〈学研 特別支援の漢字教材 初級より〉

～苦手さが視覚認知（「見る」ことで外界の情報を取り入れて、それについて理解すること）の問題かもしれない？チェックリスト～

- ① 見なさいという指示に従えない。
- ② 左右が覚えられない。あるいは間違えやすい。
- ③ よく迷子になる。
- ④ 探し物をうまく見つけられない。
- ⑤ 黒板に書かれたことを、ノートに写せない。
- ⑥ 文字を覚えられない。
- ⑦ 覚えているはずの似たような文字を間違える。
- ⑧ 年齢相応の絵や本の挿絵を理解できない。お絵かきがまとまらない。
- ⑨ 手作業が不器用である。
- ⑩ 人のしぐさが真似できない。お遊戯やジェスチャーが苦手である。
- ⑪ ボール遊びやそれに類する体育が苦手である。
- ⑫ 身体のバランスを崩しやすい。物につまずいたり、人にぶつかったりする。
- ⑬ 文章の行を飛ばし読んだり、同じところを何回も読んだりする。
- ⑭ 整然と数字を並べられず、筆算が苦手である。
- ⑮ 図形の問題が苦手である。



「視覚認知トレーニング」学研より